

議会だより

第96号

第四回定例会

(12月11日)

空き家等の適正管理に関する

条例他を可決！



第4回町議会定例会は、12月11～12日の日程で開会され、一般質問3名、条例の制定2件及び規約改正1件、指定管理者の指定4件、補正予算3件、人事案件1件を審議・可決し、日程を1日残して閉会しました。

また、第3回町議会臨時会が11月27日に開催されています。

□ 補正予算 □

一般会計については、歳入歳出それぞれ1億3,352万円を追加し総額は30億2,567万円となりました。

主な内容は、公営住宅の建設に1億3,685万円となつていきます。

また、国民健康保険事業特別会計で84万円を追加し、後期高齢者医療特別会計で52万円を減額しました。

□ 指定管理者の指定 □

(施設名)

○秩父別町生涯学習センター

(指定管理者)

特定非営利活動法人あおぞら

(施設名)

○秩父別町パークゴルフ場

(指定管理者)

特定非営利活動法人NP
○まちづくりネットちっぶ

(施設名)

○秩父別温泉施設及び秩父別町多目的研修施設

(指定管理者)

(株)秩父別振興公社

(施設名)

○秩父別町育苗施設

(指定管理者)

北いぶき農業協同組合

(指定期間)

いずれの施設も

平成25年4月1日から

平成28年3月31日まで

□ 条例の制定等 □

○ 秩父別町空き家等の適正管理に関する条例

(説明)

空き家等の管理に関し、所有者等の責務を明らかにするとともに、管理不全になつた空き家等に対し、調

査の上所有者等に適正な管理をするよう、助言又は指導等を行うこととなっております。さらに、勧告及び命令に従わなければ、公表することも定めています。

○秩父別町暴力団排除条例

例

(説明)

暴力団の排除について、基本理念を定め、町、町民及び事業者の責務を明らかにするものです。

○中・北空知廃棄物処理広域連合規約の変更について

(説明)

中・北空知廃棄物処理広域連合の事務所の移転に伴い、所在地の変更をします。

一般質問



速見議員

【速見議員】

政府民主党は、少子化対策・子育て支援として、子ども手当を2万6千円支給するとの公約を果たさず半額とし、更に今年の4月からは支給額の減額改定が行われます。また、年少扶養控除も廃止されるなど、子育て世帯にとっては期待外れの思いが強いと思います。子育て世帯の中では、子供の成長に伴い住まいの増築、トイレの水洗化合併処理浄化槽の設置を含め、住宅環境を整えたいと考えているが、今の状況では難しいと言っていることを聞きます。自治体の中には、子育て環境の充実を図ることを目的に住まいの改修に助成を行っている所もみられますが、本町が子育て世代を元気にし「産み育てやすい町

問
子育て世帯の住まい改修に助成制度を

答
新たな子育て支援を考慮しており住まい改修は今後検討したい

づくり」を進める姿勢を明確に示すためにも、子育て世帯の住まい改修に助成制度を実施すべきだと思えます。町長の見解をお伺い致します。

【神薙町長】

子育て支援対策としては様々な取り組みを行っております。

医療費に付きましては、中学生までの医療費の無料化、母子保健事業では5歳児健診の実施、妊婦健診の全額助成と交通費の助成、更に今年度より不妊に悩むご夫婦に対しての不妊治療費の助成事業を創設しています。

感染症予防対策では、主要な任意予防接種費用の全額助成、高校生までのイン

フルエンザ予防接種費用の全額助成を実施しています。また、近年の急速な少子化や家庭を取り巻く環境が大きく変化していることから、保護者の就労の有無に関わらず教育・保育を一体的に提供する認定こども園を今年度空知管内で初めて開設し、保育料も子育て世代の負担軽減のため国の基準から30%、50%の軽減を行っております。



更に、昨年度からは中学生までの児童生徒を養育している世帯に水道基本料金の全額助成を行うなど子育て環境の充実を図ってきました。

しかし、政府の少子化対策の目玉でありました子ども手当の支給財源捻出に伴い、年少扶養控除が廃止され子育て世帯の負担が増加していることに大変憂慮をいたしております。

これらのことから、新たな子育て支援対策を考慮しており、出産後の定住促進に繋がる出産1年後の祝い金制度の創設、現在の中学生までの医療費無料化を高校生までに拡大するとともに、議員から質問のありました町民の住環境の向上と定住促進を図るため新たに合併処理浄化槽を設置する際の助成制度を来年度から創設する考えであります。

従いまして、子育て世代に限定しての住宅改修制度につきましては、今後の課題として検討して参ります。



本村議員

【本村議員】

東日本大震災の原発事故以来、安全を優先する機運が高まり原発に頼るのでなく他の発電に委ねる機運があります。現在では公共施設の屋上や町有地などを民間に貸し太陽光発電をしている自治体は多くなっています。

国は学校施設における耐震・エコ・ICT化を推進する考えで太陽光発電にも目標を立てて取り組もうとしています。

さて、太陽光発電は太陽光の恵みと環境教育に役立つ温暖化の原因である温室効果ガスCO2を排出しない再生可能エネルギーとして脱温暖化対策に大きく貢献すると思います。

子供たちは太陽電池などの実物を観察・体感でき実物大の教材となり環境教育

問 学校に太陽光発電施設の設置を

答 新築予定の消防庁舎を予定しており学校施設は支援策の動向を見極め検討したい



に役立つと考えます。また、電気代の削減はもとより小・中学校は災害時の避難所として指定されており、非常用電力にも活用することができると思います。地域にある最も身近な公共施設としての学校に設置することで環境対策の進展に貢献すると考えます。

今後本町にある潜在的資源を活用した自然エネルギーを掘り起こし先進的な取り組みをする町として発展することを望み、学校に太陽光発電施設の設置をお願いしたいと思います。

【神奈川町長】

学校施設に太陽光発電施設を設置するための助成につきましても、現行では国の制度で学校施設環境改善交付金があり補助率は2分の1ですが、基準単価等により実質的には3分の1程度になってしまっているものと国士交通省と共同して学校ゼロエネルギー化推進方策検討委員会を設置しました。概要は、学校施設における省エネルギーと太陽光発電等による創エネルギーとの組み合わせによりゼロ

エネルギー化を図ることである。また、学校施設の防災機能への貢献です。環境教育への活用となっています。しかしながら、実現にむけた支援策はまだ示されていません。

我が国において地球温暖化が進む中、東日本大震災による福島原発事故以来、全国的に原子力発電所は停止となり電力の供給制約が長期化する可能性が生じるという厳しい状況に至っています。町といたしましても可能な限り省エネルギー・省CO2を進めていく取組が必要であると考えています。その一環として、一昨年より一般住宅に対し太陽光発電システム設置補助を実施しています。

現在考えている公共施設における今後の太陽光発電施設整備方針は、耐震改修等や新築施設を優先的に設置していきたいと考えています。本年度耐震診断をいたしました役場庁舎は来年度の実設計の際に検討していきたいと思っております。また、26年度新築予定の消防



庁舎についても設置を予定していますが、太陽光発電施設の設置には相当高額な費用を要しますので費用対効果を十分調査しながら進めなければならぬと考えています。

学校施設につきましては、新政権による支援策の動向を見極め、さらに町の財政状況を勘案しながら検討していきたいと考えており、中学校校舎は建築後35年を経過しているため小規模な校舎の新築ということも視野に入れ検討していきたいと考えています。



北垣議員

【北垣議員】

過去にも質問をしましたが再度伺います。

町や体育協会では、毎年とんでんまつりや町民レクリエーション大会などの行事を行っています。大きな町内会では人数・戸数も大きくマンモス化し、町内活動にも一部の人が参加せず関心が薄いようです。

一方、小さな町内会では、人数・戸数の関係上、不参加となっており、参加したいと思っている人が悔しい思いをしています。

問 町内会の再編について

答 町内会の自主的な意思決定によるものと考えます

小さな町内会と大きな町内会では、人数で20倍の差があり、農事組合が町内4地区に再編を計画しています。町も平成26年には開基120年を迎えることから、タイムミング的には良い時期だと思えますがいかがでしょうか。

【神数町長】

現在の町内会は、昭和50年頃から具体的な調査検討機関が組織され、その後昭和52年に当時の区長会が町内全戸加入の社会福祉協議会のご協力を頂き、昭和53年1月から昭和55年1月までの2年間をかけて現在の13町内会に再編したもので、実質的には約6年から7年間で費やしています。

過疎化や高齢化、更には

少子化により人口減少が著しい本町において、地域コミュニティを担う町内会は、最小の町内会で12戸、最大で270戸と非常に大きな差が生じているのが現状ですが、年4回開催している町内会長会議や昨年度実施した町政懇談会においても再編に対する要望・要請は皆無の状況であることから、現在のところ町内会再編の機運にはないものと考えているところです。町としても町内会の世帯数等の減少に伴い地域活動や社会的共同生活の維持が困難な状況の町内会に対応するため、町職員を葬儀に派遣するなど町内会活動の円滑な推進と地域活動維持のための支援策を講じているところです。

町内会は地域住民の自主



的な運営による自治会組織であることから、町内会の再編についても自主的な意思決定に基づきなされるものと考えています。

また、9月に開催しました町内会長会議の際に、平成26年度の開基120年記念事業の一環として中学校グラウンドでの町民運動会の開催を検討しており、開催の是非・方法等についてのご意見を伺いたしたところですが、チームの編成や競技種目等に十分な配慮と工夫を講じていただきたいとの要望が出されたところであり、特にチーム編成については、町内会を基礎とした合同チームとなることから

新たな機運が盛り上がることも考えられるところです。町内会において、再編が要するものであれば、町としても町内会の自主性を損なうことのないよう、関係機関と連携し、必要な役割を果たしたいと考えています。

所管事務調査の
申し出

議会運営委員会から、議会閉会中の所管事務調査の申し出（次期町議会の運営について）がありました。

第3回臨時会

平成24年第3回臨時会が11月27日に開催され、12月16日に執行された衆議院議員総選挙費243万円を追加する一般会計補正予算を原案どおり可決し、閉会しました。

所管事務調査 11月20日

総務経済常任委員会

本委員会は、調査事項に
対して、各担当者から資料
に基づき説明を受け、質疑
応答により調査を実施した。
その調査の結果及び意見

○財政及び税務事務の 状況について（総務課）

本町の一般会計の起債残
高は、平成19年度以降減少
し平成23年度末において43
億2千万円となっており、
このうち、交付税措置など
国の後年度負担を差し引く
と、実質的な起債残高は14
億4千万円となる。平成24
年度においては、温泉の新
浴場建設等により借入総額
が平成23年度より約2億6
千万円増加となるが、今年
度末起債残高は前年度と同
程度となる見込みである。
これに対し、一般会計の
各種基金等の貯金総額は平
成23年度末で19億5千万円
であり、起債残高を5億1
千万円上回っている。
財政状況の健全度測定

指標である実質公債費比率
は、早期健全化基準25%に
対し12・2%、将来負担比
率は早期健全化基準350
%に対し6・0%であり、
空知（130・0%）及び
全道（87・2%）の平均を
大きく下回っている。

このように、有効な補助
金の活用や有利な起債を活
用する等、本町の財政状況
は苦しいながらも、健全な
運営であるといえる。理事
者の健全な財政運営の努力
に対し深く敬意を表するも
のであり、今後とも健全財
政の堅持をお願いすると
もに、限られた予算で住民
の福祉向上や地域産業の振
興に向けた施策に期待を寄
せるものである。

また、町税の現年度分徴
収率は、99・2%と高く全
道でも常に上位に位置して
おり、担当職員の努力に対
して敬意を表するところで
あるが、滞納分については
調定額が年々増加傾向にあ
ることから、公平性確保の
観点からも一層の徴収率向
上に努めるようお願いする
ものである。

○農作物の収穫状況に ついて（産業課）

本年は例年になく大雪と
融雪の遅れにより、春作業
の遅れが心配されたが4月
下旬から天候に恵まれ、総
じて生育は順調に推移した。
水稲については、安定し
た良好な天候であったため、
登熟は平年並となり、本町
の作況指数は全道平均と同
じく107で2年連続の豊
穰の秋を迎えたところであ
る。

いもち病については、昨
年に引き続き生産者の努力
が実り、ほとんど発生はな
かった。しかし、管内では
他の病害虫の発生が確認さ
れており、今後とも情報収
集に努め、生産者が早期に
対策を講じることができ
よう対応を願いたい。

なお、全国の作況指数が
102だったため、農林水
産省が見込んでいた需要量
を上回る821万1千トン
が生産され、価格への影響
が心配されたところである
が、北海道産米の評価と
もに需要が高まり相対取引
価格は昨年より10%上昇し
「ななつぼし」で60キログ
ラム15、366円となっ
ている。

秋まき小麦についても融
雪が遅れ、生育が心配され
たが4月下旬からの好天で
前年並みの10アルル当り
356キログラムの収量と
なった。

青果蔬菜及び花卉では、
ほとんどの品目で昨年より
10アルル当りの収量は増
加しており、生産者の努力
が実った一年であったが、
栽培戸数は減少傾向にあり、
特にブロッコリーでは5戸
減の27戸。加工用トマトで
は、4戸減の18戸となつて
おり、本町の特産品である
トマトジュースの原料供給
について憂慮するところであ
る。

現在、国内では衆議院選
挙一色となつているが、政
党が乱立し農業者が最も関
心のあるTPP問題の先行
きが見えない状況だが、意
欲ある農業者が安全で安心
な作物を栽培し、安定した
経営を確立・継続できるよ
う、関係機関との連携を一
層密にして、農業振興に努
められるようお願いしたい。

○社会教育関係につ いて（教育委員会）

社会教育・社会体育事業
では、幼児から青少年、成

人、高齢者まで各年代に
応じた多様な事業が継続し
て行われているとともに、
近年では、町民自らが企画
立案した人形劇や音楽祭が
開催されている。

しかし、一方では町内会
単位の事業においては、戸
数の少ない限られた町内会
が参加できない状況にあり、
町内会の意見を参酌しなが
ら、対策を講じることを願
うところである。

施設の利用状況では人口
の減少や少子化の影響で、
減少傾向がみられる施設が
多くなつている。屋外施設
においては、天候により左
右されるため単純に比較で
きないが、パークゴルフ場
は、年々減少しており競技
人口の確な把握をし、施
設の維持、運営を願うと
ころである。

教育委員会にあつては、
町民の多様なニーズに
応じるとともに、施設の適
切な管理運営が行われて
おり、担当者の努力に対
して敬意を表するところ
であり、今後とも、引き
続き町民誰もが自発的
かつ継続的に学習活
動を行えるよう、町民
に対しての活動機会
や情報提供に努める
よう願うところ
である。

◆◆議会を傍聴 してみませんか◆◆

第1回町議会定例会は、3月上旬に開催される予定です。(本定例会では、新年度予算等が審議されます。)

お気軽にお越しください。
お問い合わせ

秩父別町議会事務局
電話33-2111
(内線25・26)

人 事

第4回定例会では、教育委員会委員の任命に対する議案が提出され、満場一致で同意いたしました。

【教育委員会委員】

(中央東町内)
梅澤 大観 氏

(新任)

昭和29年5月6日生



12月議会を傍聴して



新盛町内
我部山真美さん

「町政」の言葉が重たく感じられ、遠のいていた議会。以前から誘われていたので、今回初めて傍聴させていただきました。

張り詰めていた緊張感も開会前に議員さんから声をかけていただいたおかげで、一気に解れて議場へ。

町のあらゆる角度から質問審議がされ、新たな発見もありました。また、多くの助成制度で子育て支援していることを再確認できました。

何より、私たちのサークル活動がこの場で報告されたことに驚き、微力ながら町活性化の一役になっているのかと、また意欲がわいてきたものです。

自分たちの住む町を再確認できた議会傍聴に、また友人と誘い合つて足を運んでみようと思えました。

傍聴日 12月11日
傍聴回数 1回

議会の主なごまき

【11月】

- 1日 町政功労者顕彰式
- 7日 空知町村議会議長会定期総会
- 7日 秩父別温泉新浴場 オープンセレモニー
- 10日 老人福祉センターまつり
- 11日 北空知議会議長連絡協議会道外視察
- 14日 町村議会議長全国大会
- 20日 総務経済常任委員会
- 21日 北空知議会議長連絡協議会総会
- 27日 第3回町議会臨時会
- 産業後継者激励会

【12月】

- 4日 議会運営委員会
- 11日 第4回町議会定例会
- 11日 議会広報特別委員会
- 21日 各一部事務組合議会定例会
- 北空知圏振興協議会懇談会

【1月】

- 8日 消防出初式
- 12日 秩父別町成人式
- 17日 第1回町議会臨時会
- 17日 議会広報特別委員会
- 18日 商工会女性部新年交礼会
- 23日 退任議員親睦会新年交礼会
- 26日 渡辺孝一・釣部勲新春のつどい
- 28日 老人クラブ連合会総会
- 31日 空知町村議会議長会定期総会

後記

◆ 巳年はのぼり調子・商売繁盛と言われる景気回復が期待されます。長く不景気だった日本の景気が上向くか正念場の年となりそうだが、早く明るく元気な日本になってほしい。

◆ それにしても、この年明けは大雪と猛吹雪に見舞われゆつくり正月気分を味わうどころか除雪作業に悩まされました。「大雪は豊作の兆し」と言います。3年連続の豊作に期待しましょう。

◆ 今回の衆議院選挙では、3年前政権交代を望んだ民意があつてなく一変するといふ現実を見せつけられました。投票率も過去最低となり政治に対する期待が薄れたためだろうか？経済・教育・外交・安全保障・東北復興などまつたなしの危機的状況を新政権には突破して頂きたい。

◆ 議会も町民皆さんの声を大切にして活動をして行きたいと思えます。

(本村)